

『あの子だけ』 作…ポチ子

愛されるためには沢山のものが必要だ。

面白くもない話で笑わないといけないし、

興味がなくても映画を見に行かなきゃいけないし、

誕生日にはプレゼントを渡さないといけない。

愛されるために、

人の顔を伺いながら、必死に生きる。

そんな私の横を、平然とした顔であの子は通り過ぎる。

気づけば皆の中心で笑うあの子を見て、

惨めな気持ちになった。

愛されるためには沢山のものが必要だ。

そう思っていた。

でも、それは私だけで、

あの子はただそこにいるだけで愛される。

何もしなくなっちゃって、

皆に必要とされる。

私が必死になって手に入れようとしているものを、

あの子は簡単に手に入れる。

私とあの子の違いって何だろう。

私だって頑張って生きてるじゃないか。

なのに、どうしてあの子ばかり。

私は何のためにここにいるんだろう。

最初から与えるつもりがないのなら、

あの子だけでいいじゃんか

愛されないのなら、

あの子だけでいいじゃんか。

— 終わり —